



海南高校学校説明会に 400名を超える中学生が参加



26日(土)、今年も中学生431名、保護者154名、中学校教員23名、合計608名という大勢の方々に来校していただきました。

全体会は吹奏楽部と軽音楽部のオープニングアクトで始まり、学校説明、映画研究部の学校紹介ビデオ上映を行いました。その後、中学生は、6教科8科目に分かれた授業と校内クルーズ、クラブ見学に参加しました。例年入学生に聞くと、説明会の際の海高生の活躍ぶりにあこがれて、進学を決めたという声が多くあります。今年も受付、案内、説明と多くの海高生が活躍し、参加してくれた中学生も満足してくれたことと思います。



第3回 高校生のための未来塾



先月16日(月)に、1年教養理学科22名と科学部5名が参加しました。東京大学先端科学技術研究センター 稲見昌彦 教授から、「『超人』の作り方」と題し、人間の身体能力、認知能力を拡張する「人間拡張」テクノロジーについて受講しました。また、「環境や人との関係性を変えることで、その人の能力が向上することもある。行き詰まったと感じたら、何かを変えてみてはどうか。」というアドバイスもいただきました。

夢のかたち講座

第5回講座(1学年)

3日(木)オカ株式会社 岡 洋平 代表取締役が『家庭用品を通じて、紡ぐ過去から現在そして未来へ』と題し、海南の家庭用品の歴史やバスマットの吸水力実験を示してくださいました。また、「目の前のことを一生懸命にしてください。」「学生の今なら何にでもなれる。逆算が大切。」と生徒に語りかけてくださいました。



第6回講座(2学年)

29日(火)オカジ紙業株式会社の大岡 清人 経理部長が『段ボールの現在と未来』と題し、段ボールの生産過程やリサイクル率の高さについて説明していただきました。また、企業が求める力として、コミュニケーション力を挙げ、「年上の人と話すことでコミュニケーション力が伸びます。しっかりと話をしてください。」とアドバイスをいただきました。



第7回講座(1学年)

31日(木)中野BC株式会社の中野 幸治 代表取締役社長が『百尺竿頭』と題し、地域とのつながりを大切に商品開発を行い、「まずやってみる」ことを意識して様々な挑戦を試みてきたことを述べられました。また、1年生に向けて、「和歌山を飛びだそう。」「自分を知ろう・他人を知ろう。」、そして「努力を重ねて目的を達したその先を目指して、さらに努力していこう。」と、語っていただきました。



11月の予定

- 1日 遊歩道交通指導
- 2日 ベネッセ・駿台第3回マーク模試
- 5日 人権講演会
- 14日 2学年沖縄修学旅行(～16日)
- 15日 1学年健脚遠足
- 16日 全統センタープレテスト
- 19日 遊歩道交通指導
- 21日 2学期末考査発表
- 28日 2学期末考査(～12月4日)